



# 北区の部屋だより

## 2026年6月 第202号



刊行物登録番号 7-2-179

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和8年6月発行

### 北区 こぼれ話 第202回

## う え し た 上と下～北区の地形と地名との関係～

私たちの暮らす東京都北区はJR京浜東北線の線路付近を境にして、東側が海拔 5m 以下の東京低地、西側が海拔 20～25mほどの武蔵野台地となっており 15～20m 程度の高低差があります。そのため、地名に「上」とついたら台地の上、「下」とついたら低地の方に位置している人も多いのではないのでしょうか。

江戸時代以来、桜の名所として知られる飛鳥山ですが、史料には「飛鳥山下」という地名が頻繁に登場します。八代将軍徳川吉宗が最初に桜を植えた場所も山の上ではなく「飛鳥山下」で、そこには幕府主導で水茶屋も建てられました。また、幕末になって幕府は滝野川村内に大砲製造所（反射炉とも）の建設を始めますが、その関係でも「飛鳥山下」という地名が出てきます。

では、「飛鳥山下」とはどこなのでしょう。現在のJR王子駅の周辺、線路のあたりを「飛鳥山下」と想像する人も多いかと思いますが、江戸時代の「飛鳥山下」は本郷通りから明治通りへ続く道沿い、明治時代に入って「飛鳥山前」という滝野川村の字になった一帯（現在の滝野川 2 丁目 1～5 付近）が「飛鳥山下」なのです。「えっ？ 下？」と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、現在でも明治通りの飛鳥山交差点（標高 15.1 m）から飛鳥山の上（標高 25.4m）までは 10 mほどの高低差があり、下といえば下です。

一方、王子村では明治時代に入ると飛鳥山およびJR王子駅周辺を含め字山下という地名が誕生

しました。加えて、大正 2 年（1913）王子電気軌道（現在の東京さくらトラム〈都電荒川線〉）が三ノ輪線を敷設した際に起終点地として飛鳥山下停留場を開設したことで、低地部の方を「飛鳥山下」と呼ぶことを決定づけたものと思われます。昭和 33 年（1958）、飛鳥山下停留場は栄町停留場と改称しますが、「飛鳥山下」の名で慣れ親しんできた人も多いのではないかと思います。

いうまでもなく、停留場の名称は、実際の地形から見て名付けられたものと思われます。しかし、歴史的に見れば、実は全く別の場所を同じ名称で呼んでいることがあります。取り分け「上」とか「下」という文字が入っている場合にはご注意ください。



北とびあから見た飛鳥山（2025年撮影）

【地域資料専門員 保垣 孝幸】

## 北区の部屋 今月の展示

## 踏切探訪～こんなところに不思議な名前～



■展示期間 5月29日（金）～6月24日（水）

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

昔は様々な場所で見ることができた踏切は、鉄道の高架化や地下化によって段々とその姿を消しつつあります。普段私たちが何気なく素通りしてしまう踏切には、ひとつひとつ名前がついており、中には古い地名がつけられた踏切もあります。今回は北区周辺の踏切の名前をご紹介します、どうしてこの名前がついているのか探っていきます。



## 古文書入門講座「古文書って面白い！」はじまりました

5月8日（金）に古文書入門講座（全6回）が開講しました。古文書を読み解くための基礎知識や字典の使い方を学びながら、くずし字を一文字ずつ読み解いていきます。テキストは北区に残る実際の古文書です。1回目はくずし字を編や旁から辞典やテキストで探しました。くずし方はさまざま、正解は1つとは限りません。受講生の皆さんは難解なくずし字に苦労しながら、講師と一緒に問題を解いていました。北区に実在した人たちが書き記した古文書は、当時の生活に密着する内容が多くあります。講師が古文書特有の表記方法や言い回しだけでなく、その時代背景も解説していくため、地域の歴史も一緒に学ぶことができます。



くずし字の「役」



講師：日本近世史研究家  
保垣孝幸 地域資料専門員



## 中央図書館「北区の部屋」では、 北区の歴史に関わる資料を探しています！！



飛鳥山公園の遠景（1971年）

みなさんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治・大正期だけでなく、昭和・平成期の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、お心あたりのある方はぜひご一報ください。